

JR貨物労組 D! YOUNG!!

第4号

2015年11月5日

発行責任 寺尾 大輔
編集責任者 情 宣 部



10月7日沖縄県那覇市で、JR東労組、JR貨物労組、浦添市職労合同で沖縄平和シンポジウムを開催し、貨物労組23名、北海道地本からは2名参加してきました。稲嶺名護市長の特別講演、著名人によるパネルディスカッションなど貴重な経験をしてきました。稲嶺名護市長は「沖縄の基地問題は日本全体の問題」「日本国内で訴えるだけでは限界がある。米国に直接訴え、国際的に連帯していくことが重要」と沖縄の措かれている現状と自治体の長としてどう闘っていくか、辺野古新基地建設断固反対を掲げ、政府が強引に進めている新基地建設阻止をどう進めていくか提起がされました。パネルディスカッションでは、「抑止力とは?」「自衛隊の現実」など多岐に渡った話がだされました。「抑止力」の要件については「なるほど」と思うことが多く、現実と照らし合わせて考え直すきっかけになりました。閉会挨拶で相澤委員長は「これから我々が何を成していくべきか明確になった。オール沖縄からオールジャパンで沖縄の基地問題を解決していく」と私たちが地方に帰ってからやるべき課題が提起されました。

青年部は考えるよりもまず行動！
平和は自分達の手で切り開いていきましょう！

